



平成18年度 事業・収支決算報告



〔収入〕	〔単位:円〕
項目	
会費収入	24,153,000
寄附金収入	5,034,262
経常経費補助金収入	83,352,547
助成金収入	580,000
受託金収入	40,159,250
事業収入	2,003,400
共同募金配分金収入	12,653,528
負担金収入	20,811,278
介護保険収入	1,617,536,328
障害者自立支援利用料収入	11,486,875
利用料収入	94,802,073
雑収入	16,875,461
受取利息配当金収入	628,107
経理区分間繰入金収入	119,526,260
施設整備等補助金収入	10,080,000
施設整備等寄附金収入	5,486,756
特別会計	18,359,794
収入計①	2,083,528,919

〔支出〕	〔単位:円〕
項目	
法人運営事業	24,547,989
地域福祉事業	234,092,930
生活支援事業	1,075,856
地域包括支援センター事業	7,615,830
老人福祉センター運営事業	21,260,707
農村環境改善センター事業	701,400
授産施設事業	25,382,482
高齢者食の自立支援事業	5,489,664
高齢者等外出支援サービス事業	6,788,294
高齢者軽度生活援助事業	133,982
高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	1,482,420
介護福祉サービス事業	1,612,345,287
特別会計	18,359,794
支出計②	1,959,276,635
合併受入支払資金③	439,801,441
決算収支差額①-②+③	564,053,725



平成18年度 事業報告(総括)

平成18年7月1日に古川市・松山町・三本木町・鹿島台町・岩出山町・鳴子町・田尻町の旧1市6町社会福祉協議会の合併により、大崎市社会福祉協議会が誕生いたしました。

合併後は、介護保険制度の改正や障害者自立支援法の施行等、福祉情勢が大きな転換期を迎えたこの時期に新たな地域福祉の推進を担うこととなり、その推進役としての役割を踏まえて事務局の組織体制を4課(総務課・地域福祉課・事業推進課・施設福祉課)、旧市町社協単位に各支所を設置し、これまでそれぞれの地域で築き上げた実績を基盤に事務事業を円滑に効率的・効果的に推進いたしました。

地域福祉事業としては、ボランティア育成・活動事業、福祉教育・人材養成事業、高齢者・児童・青少年・障害者・母子父子家庭に対する各種福祉サービス事業、生活援助事業、大崎市からの各種受託事業、指定

管理事業を実施し、大崎市全域における地域福祉活動を展開・推進いたしました。

さらには、介護保険事業・介護予防事業として、居宅介護支援事業・訪問介護事業・通所介護事業・訪問入浴介護事業・福祉用具貸与事業・短期入所生活介護事業・認知症対応型共同生活介護事業・特定福祉用具販売事業、特別養護老人ホーム「敬風園」を、障害者自立支援事業としては、居宅介護事業、共同生活介護(援助)事業、生活介護事業を実施し、利用者に対し、より良いサービスを提供できるよう運営に努めました。

平成18年度は「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を基本方針として福祉事業を推進してきましたが、合併後1年を経過して、未整備あるいは課題事項も残っていますが今後も各担当課・各支所にて課題を整理し、引き続き積極的な事業展開と地域福祉の推進に取り組みます。



※平成18年度に関しては平成18年7月1日より大崎市社協が新たに設立された為、9ヶ月間の収支決算となっております。

社協は… こんな取り組みをしました。



↓ 金婚祝賀会

鳴子



↑ ひとり暮らし高齢者のつどいゲーム大会

松山

↓ ウィークサービス閉会式

三本木



↑ 世代間交流事業「絵手紙講座」

鹿島台